

# コムラサキ



<b>区分</b>	宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
<b>分布</b>	北海道・本州・四国・九州に分布する。 <sup>(1)</sup>
<b>生態</b>	主な生息地は河川敷に多く生育するヤナギ類の林であり、公園内樹木や街路樹として植えられたヤナギ類を利用することもある。幼虫はヤナギ類の葉っぱを食べて成長し、成虫は主にヤナギ類やクヌギ、コナラなどの樹液を吸汁する。なお、コリヤナギおよびイヌコリヤナギの葉っぱは幼虫の餌にはならない。 <sup>(1) (2)</sup>
<b>配慮事項</b>	河川における生息状況を把握した上で、伐採箇所を決定する、改変箇所へヤナギ類を植樹するなどの配慮が考えられる。 <sup>(1)</sup>

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

(2) フィールドガイド日本のチョウ、日本チョウ類保全協会、2012

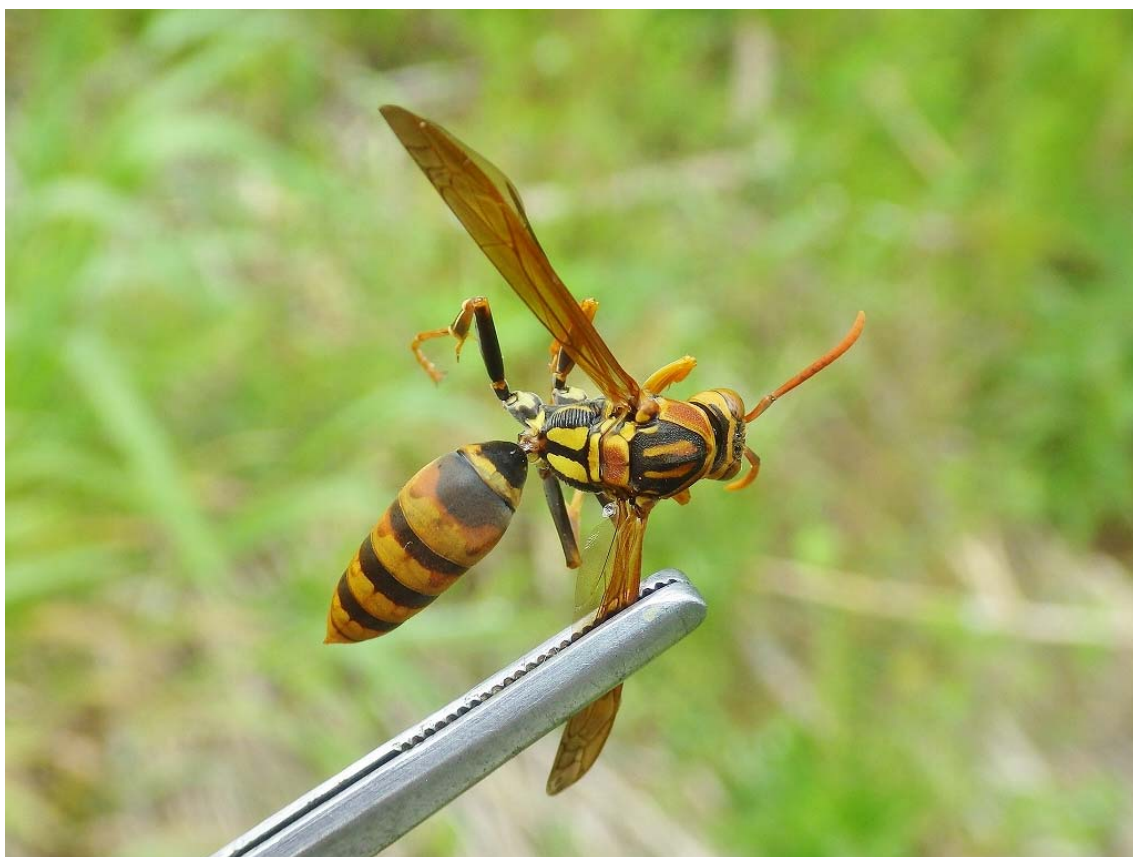
# アサギマダラ



<b>分布</b>	北海道・本州・四国・九州・沖縄のほか、対馬・大隅(種子島、屋久島)・奄美大島などに分布。 <sup>(1)</sup>
<b>生態</b>	本種は渡りを行うチョウとして知られており、春は南西諸島や台湾などの南方から日本列島を北上し、秋には再び南下する。延岡市は本種の渡りのコースの一部となっている。すべての個体が渡りを行うわけではなく、一部は渡りを行わず日本本土で繁殖する。飛翔は緩慢で、トラノオ類などの花に集まることが多いが、一度驚かせると天高く舞い上がる。 <sup>(1)</sup>

(1) 日本産蝶類標準図鑑、白水隆、2006

# ヤマトアシナガバチ



区分	環境省レッドリスト:情報不足
分布	本州・四国・九州のほか、対馬・大隅諸島に分布する。 <sup>(3)</sup>
生態	平地や低山地に生息し、草本の葉の裏や樹木の細い枝、時には人家の軒下や壁にも営巣する。女王バチや働きバチ、オスバチで1つの巣を構成する社会性昆虫類で、5～9月頃までみられる。10月～翌春まで女王バチは越冬する。 <sup>(1)(2)(3)</sup>

(1) 日本の新社会性ハチ、高見澤今朝雄、2005

(2) レッドデータブック 2014ー日本の絶滅のおそれのある野生生物ー 5 昆虫類、環境省、2015

(3) 日本産有剣ハチ類図鑑、寺山守・須田博久、2016